

## 金融機関 3 社との総額 17 億円の融資契約締結について

株式会社 QD レーザ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：菅原充、以下、QD レーザ）は、株式会社商工組合中央金庫（本店：東京都中央区、代表取締役社長兼社長執行役員：関根正裕）、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区、総裁：田中一穂）、りそな銀行株式会社（本店：大阪府中央区、社長：東和浩）の 3 社と、それぞれ 10 億円、5 億円、2 億円の計 17 億円の融資契約を締結しました。

### 【融資契約概要（全て無担保・無保証）】

#### 1. 商工中金

融資枠 : 10 億円

借入先 : 商工組合中央金庫 上野支店

融資期間 : 1 年間（4 回まで延長あり）

#### 2. 日本政策金融公庫

融資額 : 5 億円

借入先 : 日本政策金融公庫 横浜支店

融資期間 : 3 年間

#### 3. りそな銀行

融資枠 : 2 億円

借入先 : りそな銀行 川崎支店

融資期間 : 1 年間（自動更新）

### 【当社菅原社長コメント】

今回の融資契約は、資本政策に影響ない形で資金繰り計画の安定化に寄与するものであり、感謝申し上げます。特に商工中金様との契約は、他社に無い当社の技術と成長可能性をご評価頂き、ベンチャー企業に 10 億円という規模の純粋な融資枠を設定した初めてのケースと伺っております。当社は設定頂いた資金を事業の安定と加速化のため有効に活用して参ります。

### 【株式会社 QD レーザ】

富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：時田 隆仁、以下、富士通）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：安永竜夫）傘下の Mitsui & Co. Global Investment, Inc.（設

立当時：株式会社エム・ヴィー・シー）の出資で、2006年4月に富士通からのスピンオフベンチャーとして設立されました。株式会社富士通研究所（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：原 裕貴）と東京大学との10年以上にわたる産学連携による共同開発を基に、可視光領域から波長1300nm帯までの量子ドットレーザーをはじめとする高性能の半導体レーザーの開発・製造・販売を行っています。「人の可能性を照らせ。」というコーポレートキャッチフレーズは、レーザー及び光学技術で社会に貢献していく当社の意志を象徴するものです。

網膜走査型レーザーアイウェアの技術は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）によるクリーンデバイス社会実装推進事業、平成27年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業等の支援を受けながら開発を続けてきております。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社 QD レーザ 代表 044-333-3338、E-mail:merit@qdlaser.com